

ほらりす

IBARAKI Diversity

Polaris

一人ひとりが尊重され、
誰もが個々の能力を発揮できる
ダイバーシティ社会を目指して



特集 「多様性が生む力～ビジネスにおけるダイバーシティ～」



「お互いさま」を合言葉に ワークライフマネジメントを利用者様の満足度向上へ



社会福祉法人泰仁会

いはらき
ダイバーシティ
宣言企業

ダイバーシティ
推進企業
IBARAKI
2025

D&I
検定
3級
茨城県

石岡市

医療・福祉

会社設立▶1995年／本社所在地▶茨城県石岡市小倉442-1

事業概要▶特別養護老人ホーム、グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター、福祉サービス事業など

従業員数▶252人／ホームページ▶<https://taijinkai.or.jp>

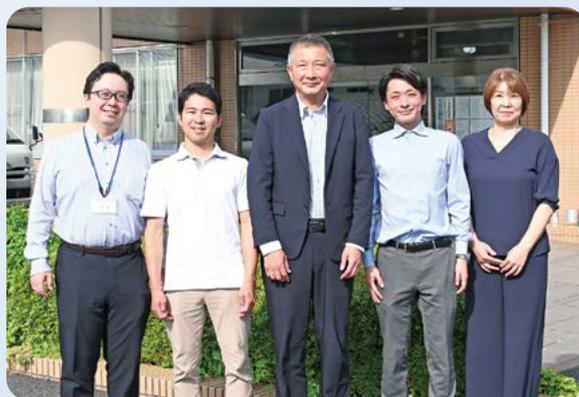
【D&I推進の取り組み】

泰仁会では、「働きやすい職場 働き続けられる職場 やりがいのある職場」を目指し、育児休業や介護休業など様々な制度の整備に取り組んでいます。制度の整備には、職員の声を常に



拾い上げ、生の声を反映させることを心がけています。職員のライフステージに合わせた柔軟な働き方を可能にする

ことで、平均勤続年数は8.03年、女性管理職の割合は33.3%と着実に伸びてきています。職員がそれぞれのライフステージに合わせた働き方ができるというのは、かなりの強みだと実感しています。私たちのワークライフマネジメントの推進を最終的に利用者様の満足に繋げていくことを目指しています。



Q 各施設・事業所で働く方々に、様々なD&Iの理念や取り組みを知ってもらい、制度を活用してもらうために心がけていることはありますか。



A 管理職が理念をしっかり受け止め伝え続けていくことが大切だと思います。そのために、法人本部だけでなく施設や事業所の職員も集まって推進会議を行うなど、理解促進に向けて学び続けています。また、日頃から「お互いさま」を合言葉にして誰もが制度を利用しやすい雰囲気を作っています。さらに、職員から意見を書いたメモをもらって、ノートに貼り、なるべく多くの意見を吸い上げています。生き生きと活躍できる環境を作り、一人一人の目標や夢の実現ができる職場づくりに努めています。



Q 育休を取得した理由と、実際に育休を取得した感想をお聞かせください。



A 施設長をはじめ、性別に関係なく皆さん取得しています。上司から「制度は使うためにあるものだから、取得してみようか」と、背中を押していただいたことが大きかったです。子供たちと一緒にいる時間が長く取れたことで、愛情がすごく深まりました。妻との会話の時間も増えました。育児についてじっくりと話し合い、助け合う関係が強まったと思います。今回の育休取得は、自分の成長につながる大きな転機になりました。



ダイバーシティ経営の強みとは!?
モデル企業のその後の取り組みについて伺いました。

特集ページのインタビューの全文は、
ホームページからご覧いただけます。
<https://www.diversity-ibaraki.jp/dandi/list.html>



多様な人材から生まれたイノベーション 技術革新と生産性向上への道

NITTOCORP 日東電気グループ



茨城町

製造業

会社設立 ▶ 1951年 / 本社所在地 ▶ 茨城県東茨城郡茨城町長岡3268
事業概要 ▶ アルミダイカスト製品の鋳造・加工・組立、プラスチック成形、FRP成形、
電子部品およびプリント基板の組立、金型製作
従業員数 ▶ 310人(国内グループ合計) / ホームページ ▶ <https://www.nittocorp.co.jp>

【D&I推進の取り組み】

日東電気グループでは、「ハッピーメーカー、会社にかかわる人と社会のために幸せ製造会社を目指します」という経営理念のもと、全世界の人と一緒に働ける場所をつくりたいと思っています。



そのために、作業環境の改善に取り組んでいます。性別や国籍にかかわらずスタッフを採用していったことが結果として技術革新や生産性の向上につながっています。今後も、いろいろな国の人たちから気付きを得られるようアンテナを立て、誰もが働けるような職場づくりを目指して挑戦し続けていきたいと思っています。



Q 多様な人材が働くことで変化はありましたか。

A 誰もが働きやすい職場にするために、進んで作業環境の改善を図ろうという気持ちになりました。例えば、整理整頓の徹底、力仕事に頼らない作業工程の仕組みの開発、動画によるマニュアル作成、コミュニケーションの工夫などです。これらの変化の源は多様な人材の力によるもので、個々が柔軟な発想を生かして取り組んでいます。



Q イノベーションという視点で、高度人材の方が改善にかかわったものはありますか。

A 廃油量の検知システムを作りました。タイマー制御で廃油缶がいっぱいになったら赤色のランプを点灯させて、システムが止まるようにしました。全自動にしたことで、効率的に作業ができるようになりました。

A 工場の技術的な部門を担当しています。基板の実装に必要な治具は、100個とか500個とか買う必要があるけれど、値段も高く、すぐに割れてしまいます。そこで、3Dプリンターで安く作る方法を考えました。



ダイバーシティは、言語、文化、性別、年齢、能力など、人々の違いを認知し尊重することを指します。多様な価値観や考え方を受け入れることで、新たな価値を創出することが可能となります。ビジネスにおけるダイバーシティは、組織が直面する様々な課題や変革に対応するための柔軟性を高め、持続的な成長を促進する潜在的な価値を持っています。

ビジネスにおけるダイバーシティは、企業活動において様々なメリットをもたらします。多くの研究や実践的な事例によって裏付けられてきています。

まずは、生産性の向上です。McKinsey & Companyの調査では、性別の多様性を重視する企業は、そうでない企業と比べて利益が21%高くなる傾向があります。また、人種や民族の多様性を尊重する企業は、33%高い利益を上げる可能性があると報告されています。

次に、イノベーションの創出が期待できます。BCG(ボストン・コンサルティング・グループ)の調査によると、ダイバーシティの高い経営陣を持つ企業は、イノベーション収益が17%高くなる結果が出ています。

さらに、従業員の満足度・リテンションの向上を図ることができます。多様な背景を持つ従業員は、多様性を受け入れる文化の中で働くことを好む傾向があります。その結果、従業員の満足度が高まり、離職率が低下すると、Gallupの調査で示されています。

加えて、市場へのアクセスの改善も期待できます。多様性を持つチームは、多様な顧客のニーズを理解し、新しい製品やサービスを提供する能力の向上、新市場への進出や市場シェアの拡大が可能となります。

リスクの低減についても注目できます。Harvard Business Reviewの記事によれば、多様性の高い組織は、グループシンク(集団的な思考の均一化)を避けるため、より多角的な視点からの意思決定を行い、リスクを分散させることができると指摘されています。

最後に、投資家からの評価も期待できます。ESG投資(環境Environment、社会Social、ガバナンスGovernanceといった要素を考慮して行う投資)が増える中、多様性を持つ経営陣や役員を持つ企業は、投資家からポジティブに評価される傾向にあります。

これらの点を踏まえると、**ビジネスにおけるダイバーシティ**の経済的なメリットは明白であり、その取り組みは企業の競争力を高めるための重要な戦略と言えるでしょう。

しかしながら、次のような課題が想定できます。

一つ目は、変化を好まない風土です。伝統的な価値観や業績評価の基準が目指すべき方向とちがう場合、新しいアイデアや取り組みへの抵抗感が強くなり、変革が困難になりがちです。

二つ目は、経営陣の理解不足です。ダイバーシティを理解しているトップ・経営層が少ない場合、従業員との間での情報や意識の偏り、判断の相違が起こりやすくなります。

三つめは、無意識の思い込みです。思い込みによる差別的な態度や行動を取ると、無意識のうちに他人を傷つける可能性があり、企業イメージを毀損し、様々な損失が生じる危険性が高まります。

これらの課題の解決策としては、以下のような取り組みを積み重ねるしかありません。

まず、経営陣からの強い意思表示です。トップ・経営層がダイバーシティの重要性を真に理解し、組織全体に浸透させることで、全体の意識が変わります。

次に、継続的な教育です。研修やワークショップの実施は、無意識の思い込みを意識化するトレーニングや多様性の価値を理解するとともに、組織全体の意識改革を図ることができます。

さらに、ダイバーシティに対する深い理解を持つ先輩が後輩や新人を指導することは、異なる背景を持つ従業員同士の交流と相互理解を促進することにつながります。

そして、総合的な評価を行うことが大切です。様々な取り組みの進捗や効果を正確に把握し、必要な場合は修正や方向転換を行うことも重要です。同時に、数字だけに固執することなく、質的な変化、従業員の声もしっかりと捉えることも必要です。

このような戦略的な取り組みが、組織の競争力を向上させ、持続可能な成長につながります。ダイバーシティ経営は新たな価値を生み出し、未来を切り開く力があります。単なる流行ではないのです。



いばらき ダイバーシティ 宣言企業

(宣言バナー)

いばらきダイバーシティ宣言

ダイバーシティ社会の実現に向けて、「いばらきダイバーシティ宣言」を発表し、県内外の466(2025年6月15日現在)の企業・団体、市町村等に宣言いただいています。引き続き、宣言の趣旨にご賛同いただける企業等を募集しています。ダイバーシティ推進の第一歩として、ぜひ取り組みを宣言しませんか。

対象▶企業・事業所・団体、市町村等
(県外からの登録申請も可能です)

申込方法▶ホームページからご登録ください。

詳しくはこちら▶

<https://www.diversity-ibaraki.jp/declaration.html>



いばらき ダイバーシティスコア

企業等におけるダイバーシティ&インクルージョンの取り組み状況を「見える化」するためのチェックリストです。取り組みの推進指標として活用することができます。さらなる取り組みにつなげてみませんか。



詳しくは
こちら▼



<https://www.diversity-ibaraki.jp/qr/score.html>

いばらきダイバーシティ スコアチャレンジ企業 登録制度

いばらきダイバーシティスコアの活用に関する登録制度です。登録いただけましたら、登録を証明するデジタルバッジの付

与もいたします。サイトや名刺等でダイバーシティ&インクルージョンの取り組みをアピールできます!!ぜひご登録ください!

募集期間▼

2025年

8月1日(金)~9月12日(金)まで



デジタルバッジ

詳しくはこちら▶

https://www.diversity-ibaraki.jp/scorechallenge_list.html



ダイバーシティ経営 企業向けコンサルティング

専門家によるコンサルティングを実施し、課題の特定や今後の取り組みについてアドバイスいたします。

申込条件▼

- ★ 茨城県内に本社または事業所があること。
- ★ いばらきダイバーシティ宣言に登録している、またはこれから登録する予定があること。
- ★ コンサル実施後に作成する報告書等を県HPに掲載することが可能であること。

募集期間▼

2025年6月30日(日) から

2025年8月22日(金) まで

詳しくは
こちら▶



https://www.diversity-ibaraki.jp/page/consul2025_top.html

D&I検定3級(茨城県版)

D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)に関する知識を映像教材で学習し、テストに合格すると認定証・認定ロゴを取得できる日本初のD&I検定制度の茨城県版です。

- ★ 完全オンラインで自分のペースで学べます。
- ★ 名刺やサイト等に認定ロゴを掲載することで、取り組みをアピールできます!
- ★ 茨城県内に本社または事業所がある企業・団体の方、茨城県内に在住・通勤・通学されている方は、無料で受検できます!



オリジナル認定ロゴ

申込開始▶ 2025年6月9日(日) から

※申込件数が上限に達し次第、締め切りとなりますのでご了承ください。

詳しくは
こちら▶

<https://www.diversity-ibaraki.jp/d&ikentei.html>



募集

ダイバーシティ&インクルージョン 推進講演会in守谷市

県民

9月20日(土)



講師 鈴木 おさむ氏

テーマ “円の外”で見つけた新たな縁
～台本のない人生に出会うとき～

日時 2025年9月20日(土) 13:30～15:15(13:00開場)

場所 もりりん中央(守谷市中央公民館)

[プロフィール]

スタートアップファクトリー代表。千葉県千倉町(現・南房総市)生まれ。

19歳の時に放送作家になり、それから32年間、様々なコンテンツを生み出す。

2024年3月31日をもち放送作家・脚本業を引退し、現在は、TO C向けファン

「スタートアップファクトリー」を立ち上げ、その代表を務める。

那珂市・龍ヶ崎市・常陸太田市との連携事業

講演会や啓発資料作成を予定しています。



今後の予定については、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。詳しくはこちら▶

<https://www.diversity-ibaraki.jp/event.html>



※やむを得ない事情により、事業内容・日程の変更または中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

公開中

普及啓発動画

県民



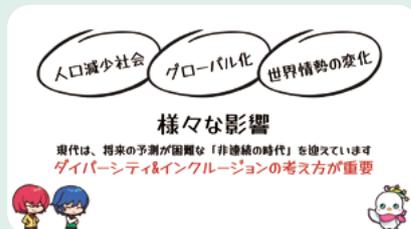
ダイバーシティ&インクルージョンについての普及啓発動画を公開しています。



ダイバーシティ&インクルージョンについて



アンコンシャス・バイアスについて



ダイバーシティ&インクルージョン
推進のために

ダイバーシティ推進センター公式YouTubeチャンネル▶



受付中

啓発チラシのデータ提供

市町村



男女共同参画やダイバーシティ推進についての啓発活動を行う際に
ご活用いただける、啓発チラシのデータを提供しています。

- ★ アンコンシャス・バイアス啓発チラシ
- ★ デートDV防止啓発チラシ
- ★ わが家の「家庭の仕事」バランスチェックシート案内チラシ
- ★ ダイバーシティWEBゲーム案内チラシ

詳細及び申し込みについては
ホームページをご覧ください▶

<https://www.diversity-ibaraki.jp/activity.html#activity5>



企業・学校受付中

県民 学校 企業 市町村

無料

オンライン研修
対応可能

出前講座「ぽらりす教室」

ダイバーシティの推進を図るため、企業・学校・市町村向けに
9つのテーマに沿った出前講座を行っています。

企業・学校向けの講座は、
若干空きがございますので、
ぜひお申し込みください。

詳しくはこちら▶

https://www.diversity-ibaraki.jp/polaris_school/page01.html



※申込件数が上限に達し次第、締め切りとなりますのでご了承ください。

企業向け講座

「リコージャパン茨城支社」 ～D&Iセミナー～

気付こう!身近にある「ダイバーシティ」と
あなたの中の「アンコンシャス・バイアス」

ダイバーシティ宣言やダイバーシティスコア登録に意欲的な企業の皆さまに向けての講座を実施。前半は、ダイバーシティ経営の効果についての講義、後半は、グループワークなどを通してD&Iについての理解を深めていただきました。

【参加者の感想】

ダイバーシティの視点
は、予測困難な変化の
激しい「非連続の時代」
において、企業価値を高
めるとともに、今後の持
続可能な社会を創ってい
くために必要であること
を学ぶ機会となりました。



《2024年度実施》
出前講座内容紹介

学校向け講座

「大洗町立第一中学校」 ～人権集会～

学校版 気付こう!身近にある「ダイバーシティ」と
あなたの中の「アンコンシャス・バイアス」

大洗町は、町を挙げて人権教育の推進に取り組んでおり、「多様な人々と生活していくために大切なこと」をテーマに、全校生徒210名を対象に人権集会を実施。プログラムの受講に加え、地域の協力者も交えた話し合いを行い、D&Iについて理解を深めるとともに、実践的な行動について学んでいただきました。

【参加者の感想】

差別や偏見をなくし、
人々が平等に暮らせる社
会の実現を目指して、自
分にできることを見つめ
直し、実践していきたい
と思いました。



公開中

県民 学校

WEBゲーム「ダイバーシティへの旅」シリーズ

D&Iについて楽しく学べるWEBゲームを公開しています。

第1弾

ダイバーシティへの旅2023
～消えた友達を探しに～



ストーリーを読み進めながら、4択クイズや謎解きクイズに挑戦して、ベストスコアを目指そう!

第2弾

ダイバーシティへの旅2024
～七つの島の番人～



選んだステージによってエンディングが変わります。ベストエンディングを目指して何度も挑戦しよう!

第3弾

ダイバーシティへの旅2025
～スターローズ星の未来～



日常の様々な場面を想定した、いろいろな形式で出題されるD&Iに関するクイズに挑戦しよう!

詳しくはこちら▶

<https://www.diversity-ibaraki.jp/diversitygame2023.html>



いばらきパートナーシップ宣誓制度

《宣誓受付窓口のお知らせ》



2025年4月から、「いばらきパートナーシップ宣誓制度」の宣誓受付は、
ダイバーシティ推進センターで行っています。

宣誓を希望される皆さまにつきましては、当センターまでご連絡ください。(Tel.029-233-3982)

受領証等交付までの手続きの流れにつきましては、[当センターホームページをご覧ください](https://www.diversity-ibaraki.jp/ibarakipartner.html)▶

<https://www.diversity-ibaraki.jp/ibarakipartner.html>



いばらきパートナーシップ宣誓制度とは、婚姻制度とは異なり、「一方又は双方が性的マイノリティである2人の者が、互いの人生において、互いに協力して継続的に生活を共にすることを約した」ことを宣誓し、パートナーシップの関係にある者同士がそろって宣誓書を県に提出し、県が受領証等を交付する制度です。なお、いばらきパートナーシップ宣誓制度は、婚姻とは異なり、法律上の効果が生じるものではありません。

各種相談のご案内

一人で悩まず、お気軽にご相談ください。秘密は厳守いたします。

相談は無料です
(別途通話料がかかります)

ダイバーシティ相談

配偶者・パートナー、職場などの人間関係や生き方の悩み事など、性別を問わずお受けします。
(公認心理師・臨床心理士が対応)

Tel.029-233-0070

相談方法

【電話/面接】要予約

毎月 第1・第3土曜日
13:00~17:00
(祝日、年末年始を除く)

性的マイノリティに関する相談

性的指向・性自認に関する様々な悩み事や不安などをお受けします。
(公認心理師、臨床心理士が対応)

Tel.029-301-3216

相談方法

【電話/メール】予約不要

電話▶毎週 木曜日
18:00~20:00
(祝日、年末年始を除く)

メール▶常時受付

女性のための総合相談

家族、夫婦、職場、地域等での悩み事や、男女共同参画に関する苦情や意見をお受けします。

Tel.029-233-7837

相談方法

【電話/面接】面接のみ要予約

毎週 水・木・金曜日
9:00~17:00
(12:00~13:00、祝日、
年末年始を除く)

女性のための法律相談

離婚、借金、交通事故、相続などに関する法律相談を実施しています。
(女性弁護士が対応)

Tel.029-233-3982

相談方法

【面 接】要予約

毎月 第2金曜日
13:00~16:00
(第2金曜日が祝日の場合は
前日の木曜日)



ダイバーシティ推進センター

ぽらりす

〒310-0011 水戸市三の丸1-5-38 県三の丸庁舎3階
茨城県ダイバーシティ推進センター「ぽらりす」

Tel.029-233-3982 Fax.029-233-1330
<https://www.diversity-ibaraki.jp>

開館時間▶9:00~17:00

休館日▶土曜日/日曜日/祝日/年末年始

発行・編集/茨城県ダイバーシティ推進センター「ぽらりす」
発行日/2025年7月1日



YouTube



LINE



Facebook

